



知床森林センター

知床の森から



平成元年 8月 第 5号

森林生態系保護地域(候補地)へ 報道関係者案内

知床横断道路周辺(東)の国有林が「森林生態系保護地域」の候補地に選ばれたことにちなんで、その一部を報道関係者に公開しました。案内した場所はカムイワッカに向かう道々知床公園線のイタシユベツ川付近から一キロメートルぐらいの地点で、道々周辺は樹齢三百年から四百年位のミズナラやセンノキ等の広葉樹とトドマツの混交林で標高が増すに従い



しだいにトドマツを主体とした亜寒帯性針葉樹林へと変わります。更に標高四百メートルの地点には高山性湿地湖沼があります。

残雪ふみしめ かれんな高山植物はらうとり

平成元年七月十六日、初夏の知床の大自然を、自分の肌でじかに体験してもらおうと、第三回「親と子の森林レクリエーション」知床「ラウス平登山を行いました。地元斜里のほか北見、網走から、子供から高齢者まで二十七名が参加。岩尾別の木下小屋登山口からラウス平をめざしました。今年



雪渓を歩く六歳の女の子、元気に頂上をめざす



往復八時間の登山も全員が無事下山、職員が準備した冷たいスイカでのどを潤し、苦しかった道のりも忘れ「やれば出来る」と、疲れた顔に微笑みを浮かべ喜び会いました。参加者からのアンケートも「すばらしい自然にふれさせていたが、親切な案内に感謝しています。つぎのイベントにもぜひ参加させていただけます」との内容で職員も喜んでいました。

森林教室を作ってほしい 森のなかで木や花を植えて一日中遊びたい

四月二十九日の「みどりの日」の制定記念にちなんで行われた「知床の森林への期待」の作文、論文募集には、小学三年生から八十一歳まで、三十八名から作品が寄せられました。その中から優秀賞四点、努力賞二点が選ばれ、オホーツク木のフェスティバル会場で一般に披露されました。入賞した六名の方々は、北見宮林支局長からの木製の感謝状と記念品が、知床森林センター小合所長から一人ひとりに手わたされました。応募作品の中で斜里小学六年生の三浦あやさんの「森林教室を作ってほしい」という色んな行事を行い自分達で

この湿地は高山植物のハクサンチドリ、チングルマ、ツマトリソウ、知床半島固有のシレントコトリカブトや食虫植物のモウセンゴケの群落があり、知床における温生植物がここに集約された形となっています。このような知床の貴重な自然を、どのような形で保護していくか、現在「知床森林生態系保護地域設定委員会」で検討されています。

木や花を育て、その森林の中で一日をすごせたらとても楽しいと思う」など、森の中で実際に自然を体験したいとの希望も多く寄せられました。また、自然保護についても色々な意見が寄せられ、今後の知床国有林の取扱いや、森林・林業についての普及・啓蒙を進めていく上で、大変参考になりました。

知床森林センター新築 ログハウス風一部 階建て

職員が待ちにまった事務所の新築が決まり八月上旬から工事にかかっています。建物はログハウス風木造の一部二階建て、展示室やセミナー室もある総面積五七七平方メートルとなっています。工期は来年一月までとなっております。その間仮事務所として、斜里町役場二階で執務を行っています。当分の間来所される方々には御不便をおかけすることになりますが、御協力のほど宜しくお願いいたします。仮事務所の住所 斜里郡斜里町本町三〇 斜里町役場内 電話番号については今までと同じです。